

清和台地区 第3回地域説明会質疑応答

7月4日(土) 10時～ 清和台小学校

発言順	質問	回答
1	清和台中学校の校舎はそのまま使いつつ、グラウンドに新校舎を建てることになるのですか。その際、工事の騒音や振動で中学校の授業に影響は出ないのですか。グラウンドに建てるのであれば、体育や地域クラブなどにも影響が出るのではないのでしょうか。 中学校から苦情が出た場合、空いている小学校に移動させるなども考えているのでしょうか。	グラウンドに新校舎を建けると、日照の確保や川西養護学校の敷地の活用が難しくなるため、川西養護学校を解体し、その敷地に新校舎を建設したいと考えています。また、清和台中学校は、北校舎と南校舎に分かれており、北校舎は大規模改修により新しくなっていますが、南校舎は古い状態です。そのため、南校舎は改修するとともに、小学校や川西養護学校と一緒に使える仕様にしたいと考えています。 また、南校舎は解体が入るような工事を想定しておらず、夏休み中に工事ができるのではと見込んでいます。川西養護学校を建て替える際は大きな工事になるため、騒音対策をしっかりと講じた上で工事を行っていきます。
2	以前、意見交換会に参加しましたが、C案は急展開だと感じました。保護者の意見では、C案が多かったということですが、実際の意見の割合を教えてください。 また、今後入学予定の保護者からはアンケートは取っていないと思いますが、どのように意見を集めたのですか。小学校の保護者と同様に聞き取りを行い、その結果も踏まえて決めることはできないのですか。	小学校の保護者との意見交換会の結果は、A案が21名、B案が38名、C案が56名、どれも良いが8名、わからないが14名であり、C案が最も多い結果となりました。 また、C案については、令和7年12月の地域説明会で提示し、その後、A案～C案について意見を聞いてきました。就学前の保護者との意見交換は3月1日に実施し、3月6日の両小学校の入学説明会で、新1年生保護者に説明しています。また、意見交換会のチラシ送付の際に、参加できない保護者向けにアンケートも行いました。
3	川西養護学校の入学は、一定の基準に基づいて決めており、カリキュラムも各学校で子どもに必要なことを考えて設定していると思います。その上で、授業中の交流はどのような形を想定しているのでしょうか。 また、現状、どのような交流を行っているのでしょうか。	敷地が一緒になっても、特別支援学校として学校の運営は独立するため、川西養護学校が活動するスペースと、交流するためのスペースは、基本的には分かれている形になると考えています。川西養護学校で行っている自立活動を中心とした教育は、現在と同様に、子どもに応じた形で実施していきます。交流については、子どもの状況や保護者の意向を踏まえて進めます。他市の事例では、朝の会を一緒に行ったり、お互いの授業を見学したりする交流が見られます。 また、川西養護学校の子どもたちは、状況に応じて居住地の学校や清和台地区の小・中学校と交流を行っています。11月には「川養祭」があり、日頃の学習を発表しています。
4	学校の方向性によって入学先を検討したいと考えています。他市では入学する小学校を選べるところもありますが、川西市では入学先を選択できないのでしょうか。	隣接校区校選択希望制度があります。入学予定者数の5％の人数については、学級編制に影響がない範囲であれば入学先を選択できる制度です。今後は、希望者数や安定的な学校運営の両方の面から状況を見て、対応を検討したいと考えています。ただし、統合によって通学距離や通学時間が長くなり負担が生じる場合は、スクールバスによる通学支援を考えています。適用範囲などの詳細は、今後検討していきたいと思います。
5	給食は、現在、小学校が自校方式、中学校がセンター方式、川西養護学校は児童生徒に応じた独自の方式となっていますが、学校を集約した場合はどのようなのでしょうか。	給食については今後、具体的に検討していきます。それぞれの調理方法が異なるため、様々な選択肢が考えられますが、小学校の給食に関しては、清和台に限らず、各学校で給食室の老朽化が進んでおり、市全体で給食のあり方を考えなければいけない状況となっています。したがって、市全体の検討状況と合わせて清和台地区の給食についても検討していきます。
6	SNSの動画を見て、周りから「決定したのか」という声を聞きましたが、本日の説明では、まだこれから決めていく事項も多いと感じました。令和14年度と聞くとだいぶ先の話に思われ、「自分には関係ない」と関心が薄れてしまった人が増えたように感じました。そうならないよう、今後の広報の仕方は考えてもらいたいです。	まだまだ決まっていないこともたくさんあるので、皆さまに関心を持っていただけるよう、広報の仕方については検討していきます。 説明の冒頭でもお伝えをしましたが、本説明会の趣旨としては、小学校と中学校と川西養護学校がともに学べる環境をめざすという方向性をお伝えすることです。統合の時期や場所については、これから検討していきます。
7	中学校と同じ場で学ぶことには、少し抵抗があります。校舎の中で二世帯住宅のように分かれている形になるのか、小学校と中学校と一緒に学ぶカリキュラムに変わるのか、どのような形で統合されるのかを知りたいです。	小中一貫校や義務教育学校は全国で急増しています。背景としては、少子化の影響で子どもの数が減っていく中で、どのように学校施設を活用していくのかを考える必要があるためです。 小中一貫校では、カリキュラムは独立させながらも、中学校の教員が小学校に行って専門的に指導したり、逆に小学校の教員が中学校へ行って、つまづきを補ったりすることで、9年間通して子どもの様子を把握することができます。また、小学校6年間・中学校3年間という区切りを見直し、4年－3年－2年にするなど、カリキュラムで様々な工夫をすることが可能です。今後、これらについて研究を進めていきたいと考えており、単に小学校だけで統合するよりもメリットがあると捉えています。
8	昨年12月の説明会では、2つの小学校を統合するという話で進められていましたが、今回の説明会では中学校と川西養護学校を含むC案で決まったという形で伝えられており、決定の方法が不透明だと感じました。今回の説明会は、C案で進めることを決定する会なのでしょうか。 また、現在建設資材が高騰しています。6年先に着工するという計画ですが、建築費はさらに高騰するかもしれません。予算はどれくらい見込んでいるのですか。	12月の地域説明会では、清和台小学校と清和台南小学校をひとつの学校にすることと併せて、これからA～Cの3つの案について皆さまの意見を聞いていく旨を説明しました。その上で、保護者の意見を踏まえて検討を進め、方向性を決定しました。 今回の説明会は、C案で進めていく方向性を決定したことをお伝えするための説明会です。 建設費の高騰については、教育委員会も市長部局も懸念しています。最短でも6年かかるだろうという見込みを示していますが、令和14年度という開校時期は一つの目安です。建設費の高騰については状況を見ながら対応していきますが、子どもたちが深い学びや多様な学びを実現できる校舎にしたいと考えています。

清和台地区 第3回地域説明会質疑応答

7月4日(土) 10時～ 清和台小学校

発言順	質問	回答
9	川西養護学校の子どもたち一人ひとりの発達を考えた時に、全部を統合して良いのかという想いがあります。 また、P34の小中一貫校の説明の中で、けやき坂小学校を含めた3校で小中一貫校を実施すると書いてありますが、なぜ川西養護学校が含まれていないのですか。	川西養護学校は、一人ひとりに応じた学びができるように取り組んでいます。今回、川西養護学校の保護者とも意見交換を行い、障がいの有無に関わらず、ともに学べる環境が望ましいという強い想いも伺ったため、それが実現できるような教育環境をめざしたいと考えています。 P.34は小中一貫教育についての説明資料です。川西養護学校は学校の種別が異なり、独立した学校運営となることから資料に記載していませんが、同じ敷地に位置することになります。
10	小中一貫教育はとても良いと思います。9年間にわたり小学校と中学校が連携して子どもを育てることや、4年－3年－2年で区切るなど、カリキュラムを工夫できる点は良いと感じました。ただ、これらは小中一貫校でなくてもできることかなとも思います。統合に関わらず進めていってもよいのではないのでしょうか。	川西市では、現在、小中連携教育を行っており、小学校6年生が中学校で体験をしたり、中学校の先生が小学校に行って体験授業を行ったりしています。しかし、敷地が離れていると教員の移動や時間割の調整が難しいという現状もあることから、C案のように同じ敷地で行うことが理想的だと考えています。
11	清和台中学校出身ですが、少なくとも20年前は川西養護学校との交流はありませんでした。子ども達にとっては、ハンディキャップのある人との関わりは大切だと思っています。新しい学校が開校した際には、どのような交流をめざすのかを明確にしていってほしいです。	これまで清和台中学校は、川西養護学校との交流はなかなか進んでいませんでした。清和台中学校で勤務していた時、一度、昼休みに中学生を連れて行ったことがありましたが、中学生はためらって積極的に関わることができず、自分たちだけで遊んでしまい申し訳なく感じました。しかし、川西養護学校の先生からは、直接関わることだけが交流ではなく、中学生の活動の様子を川西養護学校の子が見るだけでも大切だと言われた経験があります。ですので、交流を構えずに、C案になった際は同じ敷地にあることを生かして進めていきたいと考えています。
12	統合した場合、どこかの学校は跡地となります。現在、ボール遊びが禁止の公園が増えるなど子どもが遊べる場所が減っており、大きなグラウンドのある公園は必要だと思いますし、魅力的に感じます。今後、跡地をどのように活用していくのか、考えをお聞きたいです。	学校のあり方については教育委員会が中心となって検討をし、跡地については企画財政部が中心となって検討していきます。ただ、開校は令和14年度となり、まだ先のことだと思われる方が多いかもしれません。令和8年中に教育委員会としての方向性が決まるため、統合する場所などの決定をふまえ、地域の皆さまと意見交換を行いたいと考えています。地域の皆さまの声を聞くとともに、民間事業者の参入可能性も視野に入れて検討するため、今後の意見交換の場にご参加いただければと思います。
13	就学前の保護者の意見について、意見交換会に参加した11人の意見だけで結論が出たというのは、意見集約の母数が少ないと思います。意見交換会が最終決定の場と思って話した保護者がどれだけいたのかなと感じています。 今後は、統合に影響がある就学前の家庭にしっかり周知し、たくさんの意見を集めた上で意見集約を行うなど、意見収集の方法を考えてほしいです。	教育委員会としても、統合に係る就学前の保護者の意見を可能な限り多く聞きたいと考えています。意見の多い少ないだけで方向性を決めるとことはありませんが、就学前の保護者の意見集約の母数が少ないことは認識しております。清和台地区にお住まいの全家庭に郵便で案内を送付しましたが、参加は少ない状況でした。したがって、お知らせが届いていないわけではなく、予定が合うご家庭が少なかったと認識しています。小学校の保護者についてはできるだけ1人ひとり意見が聞けるよう、個人懇談等の機会に小学校を訪問して話を聞いていますが、就学前の保護者は清和台以外の施設に通われている方も多く、アプローチの方法については難しいと感じています。良いアイデアがあれば、ぜひご意見をいただきたいと思います。

清和台地区 第3回地域説明会質疑応答

7月4日(土) 14時～ 清和台南小学校

発言順	質問	回答
1	保護者の意見の中には、給食が自校式でなくなるのではないかという心配も挙がっています。C案が進むにあたり、給食についてどのような進め方をするのか知りたいです。川西養護学校は、刻み食など、子どもに合わせた細かな対応が必要だと思います。 また、教職員の意見の中には、給食を作っている職員の意見も含まれているのでしょうか。その方々の意見も知りたいと思いました。	給食の提供方式について現時点で決まっているものではありません。ご指摘のとおり、現状はそれぞれで提供方法が異なるため、他自治体の事例も参考にしながら検討していく必要があると考えています。また、給食に関しては、清和台だけでなく、小学校給食全体で考えていく必要があります。市全体で給食室の老朽化が進んでいます。故障や衛生基準の変更などの課題にも、修繕等では対応していますが、修繕では対応できない不具合も発生しています。子どもが減少する中で、公共施設のあり方として市全体で検討していくため、その流れに合わせて清和台についても検討していきます。 なお、清和台個別でということではありませんが、調理師などとコミュニケーションを取り、意見を聞く場を設定しており、自校調理の良さは聞いています。
2	児童へ授業を通じて意見を聞くことや、開校準備委員会のコンセプト作成の際に子どもが参加することなど、実際に通う子どもの意見を聞くのはとても大事だと思います。開校に向けて、今後もいろいろな形で子どもたちの気持ちも聞く場をつくってもらいたいです。	教育委員会としても、子どもの意見を聞いていく機会は大切だと考えています。意見を聞く際には、清和台地区の児童数の減少や大規模校・小規模校の学校生活の様子などを学んだ上で、今後、どのような学校にしていきたいかということも考えてもらいました。清和台小学校、清和台南小学校、清和台中学校、川西養護学校には、今後も意見を聞く機会を取ってもらうようお願いしていますので、引き続き取り組んでいきたいと考えています。
3	6年後の開校に向けてC案で進めていくことはわかりましたが、今後の協議事項にある、2つの小学校を先に統合するというのは、具体的に時期なども決まっているのでしょうか。	C案で進めていくことは決定をしていますが、小学校2校を先に統合することについては、今後、保護者の意見を聞いていきたいと思っています。現在、両校の保護者に聞き取りしている最中です。今の聞き取りの状況では、先に小学校2校を統合して欲しいという声を多く聞いています。また、統合する場所について、「統合した場合はもう一方の小学校になっても良いか」ということも聞いています。保護者としては、スクールバスが出るのであれば良いという声が多いです。そのような意見をふまえて、今後、検討していきます。12月の説明会では示せるようにしていきます。
4	P.33に施設分離型の小中一貫校と記載がありますが、けやき坂小は現状で単学級が発生はしていますか。もし、今後、けやき坂小でも単学級が発生した場合どうなるのでしょうか。けやき坂小はなくなり、清和台の小学校で学ぶことになるのでしょうか。	けやき坂小は、1年生は1クラス、6年生は4クラスという現状です。今後の推計としては、来年度以降も単学級が続く見通しとなっています。今後、継続的に単学級となった場合は、統合も含め、話し合いを進めていく必要があるため、けやき坂小の学校運営協議会には、今後の児童数推計や清和台地区の学校のあり方の進捗状況などを共有しています。 令和14年度には、けやき坂小がすべての学年で単学級になっている可能性もあるため、保護者や地域とも話をしていかなければならないと考えています。けやき坂地区にお住まいの方々からすると、統合するにしろ、しないにしろ、いずれにしても大きな決断になると考えていますので、しっかりと時間をかけて一緒に考えていきます。
5	川西市全体の小・中学校に対するデザイン・方向性と、今回の統合の整合性について、教育委員会としての考えを聞きたいです。	現在、市全体でも子どもの数が減ってきており、特に北部地域では少子化が顕著です。教育委員会としては、小規模校の良さは当然ありますが、子ども達の豊かな学びのためには、一定程度の規模が必要だと考えています。そのため、学校のあり方審議会で、「継続して学年が単学級となった場合、統合を含めて地域と話し合いを進めていく」という目安を示しています。その基準で考えると、けやき坂小については来年度に地域に説明をすることになりますが、早めに情報を共有し、しっかり時間をかけて話し合っていくべきと考えています。市全体でも、地域や学校の状況に応じて検討していきます。
6	川西養護学校については清和台地区以外の方にも影響があると思いますが、清和台地区以外の方にも地域説明会の案内はあったのでしょうか。	今回の説明会は清和台地区に特化した内容であるため、他の小学校区への説明よりも、まずは清和台地区の皆さまにお知らせをすることが大切だと思い、地域へ案内をしています。市全体へは、広報誌3月号「かわにしのいま」にて、進捗状況をお知らせしています。また、川西養護学校の保護者の方には、個別に説明会開催のお知らせをしています。
7	川西市の子どもの数が減っているという説明がありましたが、清和台やけやき坂の10年後20年後の子どもの数は、どのくらいになっているのでしょうか。また、その減り方は、一般的な減り方なのか急激なのか知りたいです。	推計としては、実際に生まれている子どもの数から出しているため、令和14年度までの5年間の推計となります。清和台小、清和台南小に関しては、年によりばらつきがあり、極端に少ない年もありますが、1学年30人前後で推移していくと見込んでいます。 けやき坂小については、令和3年度は679人で最大でしたが、急激に減ってきており、令和14年度には200人を切る見通しとなっています。令和9年度から14年度にかけては、1学年30人前後で推移すると考えています。

清和台地区 第3回地域説明会質疑応答

7月4日(土) 14時～ 清和台南小学校

発言順	質問	回答
8	兵庫県の公立学校で、小中一貫校の事例はあるのでしょうか。事例があれば、いろいろなアイデアがもらえると思うので、そのようなアイデアを聞きながら良い学校ができればいいと思います。	県内に小中一貫教育を実施している学校は多数あります。阪神間では、西宮市に1校、義務教育学校があります。県内でも全国でもかなり増えてきています。その背景として、子どもの数が減っていることや、学校同士の統合だけでなく、新しいビジョンをもって学校づくりを進めていこうという全国的な動きがあります。 また、加古川の義務教育学校にも視察に行っています。小中一貫でカリキュラムを組む際は、様々な工夫ができます。例えば、加古川では、1年生から9年間で英語を教えるカリキュラムを組んでいたりと、地域の学習を9年間通して実施したりしています。また、小学校と中学校の6年3年という区切りを外し、4年ー3年ー2年の3ステージ制とすることもできます。教員の交流としても、中学校の教員が小学校に行き、より専門的な学習をしたり、小学校の教員が中学校に教えにいき、生徒のつまづきを見たりすることもできます。川西市としても、事例を参考にしながら、どんなコンセプトにしていけるのかを時間をかけてじっくり考えていきます。
9	保護者の意見の中にも、残り1年で学校が変わるのは辛いという意見がありますが、残り1年で学校が変わることについて、何か配慮などは考えているのでしょうか。子ども達にとっては、2つの小学校の子どもが一緒になることは気にならないと思いますが、長年過ごした愛着のある学校を離れ、違う学校で過ごすことは心情的に悲しいと思います。	先に小学校2校が統合することを考えた時に、令和11年度開校が現実的です。統合する時は、どこかの学年が残り1年というタイミングになることは避けられないところがあります。ただ、愛着のある学校と離れることが寂しいという意見に関しては、思い出になるような取り組みを実施するなど、学校や子どもたちと相談しながら、できる工夫を考えていきます。
10	新しい学校をつくるのに、どのくらいの予算がかかるかというのは出ているのでしょうか。税金が高くなったりするのでしょうか。	新しい学校の整備にあたっては、校舎の規模や施設内容によって総額が変わるため、現時点で正確な金額は試算できていませんが、数十億の事業費が見込まれます。 「税金が高くなるのではないか」という点について、巨額の費用を一度に支払うのではなく、国からの支援を活用するとともに、地方債という市としての計画的な借入を利用して、数十年かけて負担を分散させていきます。これにより、市民のみならず新たな負担につながらないよう、計画的な財政運営を行っていきます。

清和台地区 第3回地域説明会質疑応答

7月5日(日) 10時～ 清和台公民館

発言順	質問	回答
1	工期3年では少し短いように思います。工事費が高騰しており、現在でも、1年前から1.5倍という状況もあります。新設する場合どれくらいかかるのか、市の財政として大丈夫なのかと思います。子ども達のためにも、より良いものを建ててほしいです。公民館も一緒に建てるなど、効率よく施設をつくってもらいたいと思います。	より具体的に計画を進めていかないと詳細な金額を出すのは難しいですが、数十億程度はかかると見込んでいます。かなりの高額になるため、市の財政計画の中で実現可能な範囲で金額を確保していきます。建設費の高騰については、全国的に問題になっていますが、市長部局とでもできるだけいいものを造りたいという話をしています。また、加古川の義務教育学校に視察に行ったのですが、学校の中に公民館や地域の図書館や調理室が併設されており、地域と共に学ぶ環境になっていました。今いただいたアイデアも参考にさせていただきますと思います。 また、工事期間に関しては、今後の社会情勢によって変化してくる可能性もあると思っています。3年間というのは、市の施設設計関係の部署が、現状の社会情勢や規模などを鑑みながら、見込んだものとなります。
2	豊中市出身で、障がいのある子と共に学んできたという経験がありましたが、川西市に来た時に違いを感じました。また、インクルーシブ教育を学ぶ機会があり、多様な学びにも関心をもちました。今回のC案の中で、「交流」という表現があり、朝の会やできるところを見つけて一緒に取り組んでいくという印象を受けましたが、インクルーシブ教育の視点では「基本は一緒に」であるため、前提が違うと感じました。目指すところは交流なのか、ともに学ぶ時間が主で、できないことは別でということを目指して環境を整えていくのかを聞きたいです。 また、市の地域福祉計画では「共生」がキーワードだと捉えています。今回のプロジェクトで「共生」という言葉が出てきていないことが気になります。	「インクルーシブ教育」には幅広い定義があります。日本の教育では、それぞれの子どもに合った学びの場を選択し、子ども一人ひとりに応じた自立活動や交流及び共同学習を行っていくという考え方です。 新しい学校では、川西養護学校と小中一貫校を併設しますが、別の学校という考え方であり、それぞれの教育課程を組みます。その中で一緒に学ぶ機会も用意するという考え方です。令和9年度に新学校のコンセプトを考えていく中で、子どもたちの状況や保護者の願いもふまえ、どのように交流していくのかを決めていきたいと思っています。国の基準に従えば、学校自体を一緒にしていくことは難しいという状況です。
3	工事期間について、恐らく4年、5年と後ろ倒しになる可能性もあると思います。そうすると、けやき坂小の児童数も減ってきているため、けやき坂を含めたキャパシティで新校舎を考えた方が良いのではないかと思います。	けやき坂小については、急激に児童が減っており、現時点では6年生は4クラス、1年生は1クラスとなっています。現在の見込みでは、来年度も単学級となる予定です。市の方針としては、「継続して学年が単学級となった場合、統合を含めて地域と話し合いを進めていく」としているので、現在はまだ話を進めていない状況ですが、けやき坂小の学校運営協議会には清和台の学校のあり方について説明をしています。児童数の今後の推計に関しては早めに伝え、清和台と同じように、保護者や地域と一緒に考えていきたいと思っています。
4	川西養護学校の仮設校舎を建築する必要はないと思います。清和台小と清和台南小を統合すれば1つの校舎が空くので、その校舎を仮設校舎にすれば良いと思います。	ご指摘のとおりだと思います。仮設校舎を建てると費用やグラウンドが傷むということもあるため、仮に小学校を先に統合すると決まれば、空いた校舎を活用するという方法があると考えています。
5	前回12月の説明会にも参加したのですが、今回の説明会ではC案に決まったと思って良いのでしょうか。清小と清南小を先に統合しようかという話を持ち上がっていましたが、それはどうなるのでしょうか。就学前の子どもがいるため、どちらの学校に通うことになるのか気になっています。	前回の説明会では、統合にもいろいろな教育環境のパターンがあるということを提示しました。その後、保護者に意見を伺い、今回、C案とさせていただきます。ただ、開校までに時間がかかってしまうことから、先に小学校2校を統合することについて、これから検討していくことになります。現在、保護者への聞き取りを行っていますが、小学校の保護者の意見では、先に統合してほしいという声を多く聞いています。統合する小学校の場所については、スクールバスが出るなら、どちらの小学校でも良いという意見もいただいています。 また、先ほどご提案があったように、空いた学校を川西養護学校の仮設校舎として使うという意見もいただいております。その点を考慮すると、川西養護学校が過ごすのは、1階に使える教室が多い清和台南小の方が良いという案もあります。引き続き意見を伺い、12月にはお伝えできるようにしたいと考えています。
6	12月の説明会では、3つの案について進めていく中で、C案はそれほど浮上していなかったと思います。保護者の意見として賛成が多いからという一言で進めていますが、何人中何人が賛成というように、細かいデータが全く出ていないと思います。 また、審議会ではB案とC案しか意見が出ておらず、A案は考えられていなかったのでしょうか。	今回、保護者1人ひとりに直接声掛けをしたり、アンケートを行ったりさせていただきました。賛成意見が多いことが一番の理由ではなく、教育委員会として多様な価値観に触れることのできる教育環境が重要だと考えているため、C案に決定しました。保護者の方に意見を伺う際は、賛成・反対だけでなく、どのような点に不安や懸念点があるのかを直接聞くことを大切にしています。 数を申し上げますと、保護者137名に意見を聞き、A案が21名、B案が38名、C案が56名、どれでも良いが8名、分からないが14名でした。子どもたちには、どの案が良いかというような聞き取り方はしておらず、統合に向けて心配なことや仲良くなるための交流のアイデアを聞いたため、具体的な数はありません。 審議会では、12月の地域説明会の内容に対して意見をもらったため、それぞれの案に対して個別で意見をもらったわけではないです。また、保護者の中で「A案がいい」という回答された方は、統合までの期間が長いことを不安に思っておられたため、先に小学校の統合を行うことを検討しています。
7	小中一貫校となれば、けやき坂小も影響してくるため、けやき坂小への説明が早急に必要ではないでしょうか。	ご指摘いただいたように、小中一貫校となればけやき坂小にも影響してくるため、けやき坂小へは学校運営協議会には2回伺っています。今後、どのように地域と話し合いを進めていくべきかを相談をしながら進めていきたいと考えています。可能であれば、今年度中にはけやき坂小の皆さまと話ができる場をつくりたいと考えています。

清和台地区 第3回地域説明会質疑応答

7月5日(日) 10時～ 清和台公民館

発言順	質問	回答
8	小学校統合はやむを得ないと思いますが、中学校や川西養護学校と一緒にするのは、一般の市民からすると理解が追いついていないのではないのでしょうか。また、市の方向性にあった意見のみをすくい上げているように見える部分もあります。教育面ではなく財政面が第一になっているのではないのでしょうか。	小中一貫教育や特別支援学校と一緒にすることによるデメリットについては、保護者の皆様から理解を得られるよう説明していきたいと思います。小中一貫教育が全国的に増えている背景には、子どもの数が少なくなっていることや、単に統合するのではなく新しい価値観のある魅力的な学校を作っていくべきだという考えがあります。小学校、中学校の基本的な教育課程は変わりませんが、9年間のカリキュラムを組むことも可能になります。 例えば、加古川市では、1年生から9年間で英語を教えるカリキュラムを組んでいたりと、地域の学習を9年間通して実施したりしています。また、小学校と中学校の6年3年という区切りを外し、4年－3年－2年の3ステージ制とすることもできます。教員の交流としても、中学校の教員が小学校に行き、より専門的な学習をしたり、小学校の教員が中学校に教えにいき、生徒のつまづきを見たりすることもできます。 都合の良い意見を聞いているわけではなく、保護者の意見を聞きながら、先に統合することも検討しているという状況です。教育委員会としては、財政面ではなく、教育面や保護者や子どもの意見を重要視して、検討を進めています。
9	中学生は自転車通学であり、スクールバスも運用するのであれば、自転車やバス、徒歩での通学が混ざることになるため、安全面や住環境は守れないのではないかと危惧しています。	通学時の安全面に関しましては普段の交通事情を一番ご存じである地域の方の意見をいただきながら、方針を決めていきたいと考えています。
10	川西養護学校の教職員の意見は載っていますが、小学校や中学校の教職員の意見は聞いていないのではないのでしょうか。聞いたら抵抗を示す教職員も多いのではないかと思います。一貫校を進めるのであれば、教職員の理解も必要なのではないかと思います。	清和台小、清和台南小、清和台中学校の教職員にも話はさせてもらっています。学校運営上の細かい質問も受けており、それについてもやりとりをさせていただいています。その上で、清和台小と清和台南小の教職員には、統合に向けて両校の交流についても積極的に考えていただいています。
11	3人未就学児がいます。昨年、学校の近くということを重要視して引っ越してきました。もう一方の学校になると遠くなるということに不安があります。共働き家庭としては、学童のお迎えがどうなるのかという不安が大きいです。また、学年によっては、3回環境が変わる可能性があります。環境の変化によるストレスで不登校になるような、メリットを優先させることでのデメリットを生むこともあると思うので、そうならないように、対策や配慮をしてもらいたいです。	スクールバスの運用の仕方や、環境が変わる際の対策や配慮について、ご意見として賜ります。
12	小学校と特別支援学校のみがともに過ごす案が出ていないのはなぜですか。小中一貫教育のメリットも言われていましたが、それほどメリットがあるのかわからないため、何十億というお金をかける必要があるのかわかりません。それならば、保護者の単学級への不安は明らかなので、早く進められる今言った案を進めるのが良いのではないのでしょうか。A案とのコストの比較について知りたいです。	教育委員会としては、多様な価値観に触れることを大切にしたいこと、小学校と中学校で9年間一貫した系統的な教育課程を編成できるというメリットが大きいと考えていることから、中学校だけをあえて外すという選択肢はなかったです。 予算に関してですが、A案の場合は、新たに整備する必要も無いため、環境整備に大きなお金は発生しないと考えています。また2校の小学生と川西養護学校の子どもたちがともに過ごす環境をめざるのであれば、現状の小学校の校舎に入ることは難しいため、新たな校舎を建てる必要が生じます。そうすると、B・C案同様に、大きな財政支出をする必要があると思います。試算をしていないため、どの程度の支出になるかはわかりません。
13	もし、C案になったときは、運動会や文化祭などの行事は一緒にやるのか教えてください。	川西養護学校の子どもたちや保護者からは行事の際に人数が少なくてさみしいという意見があったため、小学校や中学校と一緒に実施することによってぎやかになって良いのではないかと考えています。よって、学校運営上支障がないように、できるだけ一緒にイベントを行っていききたいと思います。他市の義務教育学校を見ると、小学校と中学校が行事を一緒に行っているところも多いため、そのような事例も参考にしながら、開校準備委員会でコンセプトを検討していきたいです。
14	単学級が適切ではないというのは10年前から言われ続けてきたことだと思いますが、今まで何をしていたのですか。単学級が出てから数年間、何をしてきたのか、これまでの総括の意見を聞きたいです。	前回は、実際に単学級が発生していない中での統合案だったため、単学級のしんどさを実感できていなかった保護者が多かったと感じました。また、前回は地域を分断しないために最初に教育委員会の案を出すべきと考え、案を提示しましたが、やはり先に子どもや保護者の声を聞くべきだったと感じています。その反省から今回は、直接、声を聞くことを大切にしています。ただ、すべての声を叶える事はできないため、選択することは出てきますが、その際はお聞きした懸念事項を払拭できるように進めています。早く進めて欲しいという声があるのは事実ですが、前回の反省をふまえて、今回は丁寧に意見を聞いています。
15	けやき坂地区に説明していないことが気になります。今、説明していただいたカリキュラムの話の聞けば、統合の方へ進むのではないかと思います。また、中学校から合流することに不安を感じる保護者もいると思います。 また、コンセプトづくりに1年間は短いように思います。満足度、納得度の高い施設が良い施設と言われていると思います。いつの間に決まったのかという不満が出ないように進めていってほしいです。	けやき坂小学校へは昨年度から学校運営協議会に参加させていただいています。市で定めた方針では継続して学年が単学級となった場合に説明することになっていますが、早めに地域や保護者に説明に入ることも考えています。

清和台地区 第3回地域説明会質疑応答

7月5日(日) 10時～ 清和台公民館

発言順	質問	回答
16	この地域説明会は、清和台地区のみ対象とする必要はなかったのではないのでしょうか。市全体のこととして考えても良いと思います。これからの子どもたちのためにも、幅広く意見を聞く機会を用意して欲しいと思います。	ご意見として賜ります。
17	川西養護学校の校舎は建て替えということでしたが、中学校の校舎は改築するのでしょうか。小学生はどこで学校生活を送るのでしょうか。	川西養護学校が老朽化しているため、解体して新しく建て替える予定です。清和台中学校は現在、北校舎棟をメインで使っており、改修してきれいな状態となっています。一方で南校舎棟は古くなっている状態です。今後、南校舎棟を改修して、小学校や川西養護学校と共有していけるよう造り替えたいと考えています。また、川西養護学校を建て替えた新しい校舎には、小学生や中学生が過ごせる教室や図書室など、みんなが活用できるような教室も用意したいと考えています。